

図書だより 皐月号

羽幌高校図書局 発行
令和元年・五月二十三日



晴耕雨読

先月号に引き続いての「晴耕雨読」のコーナーです！

今月のテーマは「今年度の目標」。ぱっと思いついた目標は、「**一年間をけがなく、健康に過ごすこと**」です。一見簡単な目標ですが、実は一番大事だと思います。現在、私は小学五年生から無遅刻無欠席継続中（公欠の二日を除いて）で、七年連続皆勤賞を目指して毎日を健康に過ごしていきたいと思っています。

リレー形式で来月号のテーマを発表しているこのコーナー。六月号のテーマは「**今だからこそ、言いたいこと・伝えたいこと**」です！お楽しみに！

局員のおすすめ本のコーナー

一冊目は**角川書店出版、竹山洋さんの『ホタル』**という本です。私とこの本との出会いは図書室での国語の授業時で、“背表紙が呼んでいる”と感じました。表紙もなかなか惹かれるもので内容も興味深く、授業だけでは足りず、個人的に続きを読んでしまうほど良い作品でした。漁師町でのどこかに漁をしている山岡秀治とその妻・知子、そして周りの仲間たちとの日常、素直な思いを描いた感動の一冊です！！

二冊目は**光文社文庫出版、坂川栄治さんの『遠別少年』**という本です。この本は、“遠別”という文字で選びました。作者が遠別町出身ということで軽い風刺も交えつつ、どこか懐かしさのある短編集となっています。読みたくなった人は三階図書室へぜひ！！

編集後記 本格的に「図書だより」として始動した第2号となった今号ですが、いかがだったでしょうか？読んでくれている人はいるのかな・・・と心配でしたが、先生含め何人もの人から「面白いね！」や「これって映画になった小説だね？」という言葉があったおかげでとても励みになりました。そして自分も読みやすい図書だよりを作ろうと思いました。

図書だよりは、毎月当番制で書いています。平常講習や、読み聞かせ等の活動の空いた時間でコツコツ書き進めています。局員だけでなく顧問の先生とも協力しつつ、読みやすい図書だよりを目指してこれからも作っていきます。

それでは、来月の図書だよりもお楽しみに！！

春も本格的となり、桜も咲き始め、「**令和**」となった五月、皆さんは元気に過ごしていますか？天皇の退位・新天皇の即位と重なり、十連休となったGW、有意義に過ごせましたか？部活動等で忙しく、全然休めなかったという人、連休を利用してどこかへ旅行した人、家でのおんびりと過ごしていた人・・・人それぞれの過ごし方があったと思います。私は連休中のほとんどを家で過ごしていました。さて、連休中のことについて一つ皆さんに質問をしたいと思います。

「連休中、一冊でも本を読みましたか？」

勝手な推測ですが、ほとんどの人は「読んでいない」と答えるのではないのでしょうか。もっと本を読んで欲しいと思います。そこで、読書のあまり好きではない人でも長期休業中読んでみよう！と思える本を紹介します。それは、**原田マハさんの『生きるぼくら』**という小説です。米作りを通して少年の人生が変わっていく成長物語です。気になった人はぜひ図書室へ来て読んでみてください！

話は変わりますが、五月十日に令和初の春季体育大会が行われました。結果は納得の行くものでしたか？自分の持てる全力のプレーは出来たでしょうか？一年生の皆さんは初めての、また三年生の皆さんは最後の体育大会でしたが楽しめましたか？全員が今年の春季体育大会を楽しく終えられたことを願っています。体育大会は“友情”と“チームワーク”を育む場の代表格。それに関連した本を紹介します。**チーム青森他十団体の物語集『友情とチームワーク』**という本です。スポーツをしている人もしていない人も感動できる物語がたくさん詰まっています。興味を持った人はぜひ図書室へ！！

そして、六つの部活動で高体連が始まりました。移動中に読書を、とまでは言いません。日頃の練習の成果を全て発揮し、一つでも多くの部活動が全道大会に出場できることを祈っています。ここでも、運動系部活動の皆さんにおすすめの本を紹介します。それは、**壁井ユカコさんの『2.43 清陰高校男子バレー部』**という本です。表紙だけだと、バレー部向けの本のように見えますが、どの部活動にも共感できるような表現がたくさん含まれています。こちらにも気になった人は是非図書室へ来てみてください！また最近では昼休みに一年生の皆さんがたくさん図書室に来てくれています。本に興味を持っている人が多く、嬉しく思うと同時にもっといっぱい本を借りて図書室来てほしいと思っています。

**今月の貸し出し冊数は13冊!! (先月比±0冊)
皆様のご来館を局員一同お待ちしております!!**